

株式会社多摩技研製作所

担当専門家：中小企業診断士／湯山 恭史



左：専務 西川 浩美 氏 右：代表取締役 西川 一仁 氏

経営者としての
覚悟が生まれ、
赤字からの脱却。

DATA

代表者：代表取締役 西川 一仁
所在地：西多摩郡日の出町大久野 757-1
電話番号：042-597-1026
業種：製造業（真空装置部品及び金属加工品）
URL：http://www.tamagiken.co.jp

真空技術のノウハウと特殊な溶接技術を強みに
ビジネスを進めてきた会社が経営難の壁を超えて、
見えてきたものとは。

創業50年、社長交代、そして経営の改善に向けて

研究開発用の真空チャンバーや真空用配管の製造を行う株式会社多摩技研製作所は創業50年。現会長は3年前に社長を引退し、会長の長女の夫である西川一仁氏に事業を引き継ぎました。また会長の長女、西川浩美氏も専務として働いています。これまでJAXAにロケッ

トエンジン開発用の真空装置を提供するなど、真空分野においてその技術は確かなもの。しかし承継前から赤字が続いており改善にいたっていないことや、会長が現在も一部の仕事を担うなど完全に引き継ぎができていないなどの課題がありました。

現状把握から今後の方向性、新たな取り組みまで

課題を抱えた二人の元に専門家が訪れ、財務状況の現状把握を行い、経営の在り方や今後の方向性についてのアドバイスをしました。「自分たちのビジネス分野しか見ていませんでした。その点、専門家の方は全体的な視点で、経営に関するアドバイスをしてくださいま

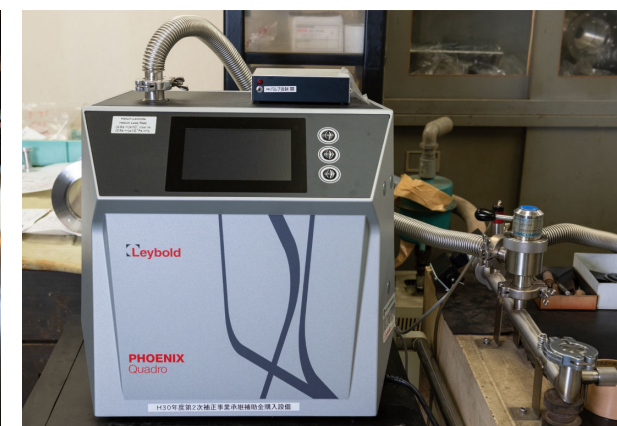
した。」という西川専務。また承継前から長年使ってきた設備が老朽化していたため、国の事業承継補助金を活用して設備を刷新することになり、煩雑な補助金の申請書作成においても、手厚い支援を受けることができました。



現場で働く西川社長



製作中の真空管



補助金を活用して購入したリークディテクター



緑の中にある多摩技研製作所

経営者としての覚悟が5年間の赤字経営から脱却

「リーマンショックが後を引いて5年ほど赤字続きでしたが、支援を受けた後の今期は改善し、黒字化に転換できました。」見事経営を改善できたその要因の一つには意識が変わったこと。長い間、製造責任者として働いてきた西川社長への事業承継ですが、受注時の見積りや

原価管理など経営に関する承継を進めることができました。経営者としての自覚、やる気や責任が増し、お客様にも自信をもって接することができるようになったそうです。西川専務も自社の強みを活かした営業を担当し、夫婦で会社の承継を実現できた好例と言えます。

専門技術を活用して新たなビジネス開拓へ

「後継者という立場で新しいことにチャレンジすることも考えています。」と、西川専務。極低温の技術者と組むことでその技術を応用し、「極低温技術」分野で新たなビジネスを開こうとしています。優れた断熱性能をもつ極低温技術を利用することで例えば小型の冷蔵庫

の開発など、これまで未開拓だった民間での販売も視野に入れたとのこと。経営改善を目指していたところから、大きく前進した多摩技研製作所。今後の活躍が楽しみです。

事業承継
支援を
お考えの
方へ

今までの問題点、今後の方向性、新たな取り組みなど、多方向からのアドバイスや情報をいただきながら良い方向へと導いてくださいました。同時にモチベーションや責任感も徐々に増しました。業種は違えど責務はどの企業様も同じだと思います。気持ちばかりが先行し行動が伴わない等の課題を抱えておられる方にぜひおすすめいたします。（西川専務）

担当者の声



後継者の育成体制に着手しないまま承継が行われ、不都合が生じているなど、難しい支援対応が求められました。承継支援の活用を促した結果、事業承継補助金の採択をはじめ、後継者が支援内で未熟な点を感じて並行して承継者塾に参加するなど、予想以上の効果が現れました。（松元 健一 経営指導員：日の出町商工会）